

---

**【講演レポート】 JIPDEC セミナー****クラウドサービス利用企業の取組み CBPR 認証とクラウド利用でデータ越境移転に省力  
対応**

インタセクト・コミュニケーションズ株式会社  
リスク管理室 室長 甘利 友朗氏

**CBPR 認証とは**

**CBPR** (Cross Border Privacy Rules/APEC 越境プライバシーシステム) 認証とは、企業等の越境個人データの保護に関して、APEC プライバシー原則への適合性を認証するシステムです。

21 のエコノミーからなる APEC のうち、日本のほか、アメリカ、カナダ、オーストラリア、韓国など現在 9 ヶ国が参加しており、イギリスも参加に意欲的です。認証取得事業者は 9 ヶ国合わせて 71 社 (日本は 5 社) あり、インタセクト・コミュニケーションズも取得しています。<sup>※1</sup>。

※1 [CBPR 認証事業者一覧 \(日本\)](#)

**インタセクト・コミュニケーションズが CBPR 認証を取得した理由**

当社は、アジア各国の各種決済サービスに対応した QR マルチ決済「IntaPay」事業を拡大する中で、越境 EC やインバウンド対応等含めサービスのエコシステムを推進する必要性がありました。

例えば、中国の消費者と日本の事業者 (EC サイト、土産店、百貨店など) 間で行う越境 EC の場合、個人情報の授受が発生します。実際、決済サービス自体では個人情報の授受は発生しませんが、問い合わせ対応や荷物発送時などエコシステム全体で考えた場合には授受が考えられ、越境時の個人情報流通に対する策を考える必要性がありました。そこで、アジアエリアの事業拡大のため、CBPR 認証を取得する判断に至り、日本第一号認証事業者として 2016 年に初回取得をしています。

**CBPR 認証取得のメリットとクラウド利用のポイント**

申請方法の詳細は、JIPDEC の WEB サイト ([CBPR 認証を申請される事業者へ](#)) をご覧いただきたいのですが、簡単に言うと、プライバシーマーク付与事業者であれば問題ないレベルの認証基準を満たした上で、CBPR 用の 50 の質問に回答し、根拠となる文書を事務局に提出することで取得可能です。

50 の質問に関しては、ドキュメント「[APEC 越境プライバシールールシステム事前質問書 \(JIPDEC\)](#)」が公開されており、質問内容を知ることができます。通知や取得の制限、個人情報の利用や、セキュリティに関する具体的な対策などに回答することで、APEC 基準の越境データ移転に自社がどの程度対応できているのかレベル感を把握することができ、取得の際の調査・計画策定等の省力化にもつながります。

なお、当社が初回取得した際は、事務局 1.5 人で対応し、その後の運用・更新等も同じ人数で対応しています。前提として、当社が P マーク認証を取得済みであったため、申請時の根拠資料を用意しやすい環境だったこともあります。越境ビジネスを重視している取引先への信頼向上、競合他社との差別化、リスクの最小化など CBPR 認証取得のメリットを多く感じています。

また、クラウド環境でデータ越境移転する/しないはリージョン（データセンター設置エリア）をベースに考え、準拠法が日本になるようにすると対策が検討しやすくなります。さらに、クラウドの環境チェッカーサービス、多要素認証サービス、暗号化サービスなど様々なサービスを組み合わせることで、セキュリティ対策と説明の労力が省力化できました。

違う側面では、災害対策や脱炭素という視点においても、調査等の作業時間の削減、企業が被る被害の最小化などにも活用できると考えています。

越境での個人情報の授受が発生するビジネスモデルをお持ちの企業であれば、CBPR 認証の取得やクラウドを利用することで、多くのことを省力化できるためとても効率的になります。ぜひご検討いただくと良いと思います。



インタセクト・コミュニケーションズ株式会社  
リスク管理室 室長 甘利 友朗氏

通信事業者にてエンジニアリング、個人情報保護業務に従事。ソフトバンク株式会社（現：ソフトバンクグループ株式会社）にてグループ情報セキュリティマネジメントに従事。株式会社ドワンゴにてリスクマネジメント、グループ内部統制に従事。現在、インタセクトにてリスクマネジメント、経営企画、DX 推進プロジェクト、大阪大学 健康情報工学共同研究講座 研究員、等に従事。東北大学内 次世代放射光施設「ナノテラス」の名付け親。

本内容は、2023年9月5日に開催されたJIPDECセミナー「個人情報のクラウド保管 実務における対応ポイント」講演内容を取りまとめたものです。